

詳細の調査結果は「市民アンケート調査からの現状」として、市及び市社協のホームページに掲載

酒田市地域福祉計画・酒田市地域福祉活動計画「地域福祉にかかるアンケート調査」 (市民アンケート調査)報告 [概要版]

1 調査概要

(1)調査の目的

酒田市と酒田市社会福祉協議会では地域の福祉活動や福祉のまちづくりのあり方を考えていくための「第4期酒田市地域福祉計画」「第4期酒田市地域福祉活動計画」を策定します。本調査は計画策定にあたり、地域福祉に関する意識及び実態などを把握し、計画策定の基礎資料とするために行いました。

(2)調査の対象

酒田市内にお住まいの方の内、無作為に抽出した2,036人と社会福祉協議会事業参加者、団体等1,500人の合計3,536人を対象に調査票を郵送

(3)調査の期間

令和2年8月から 同年9月まで

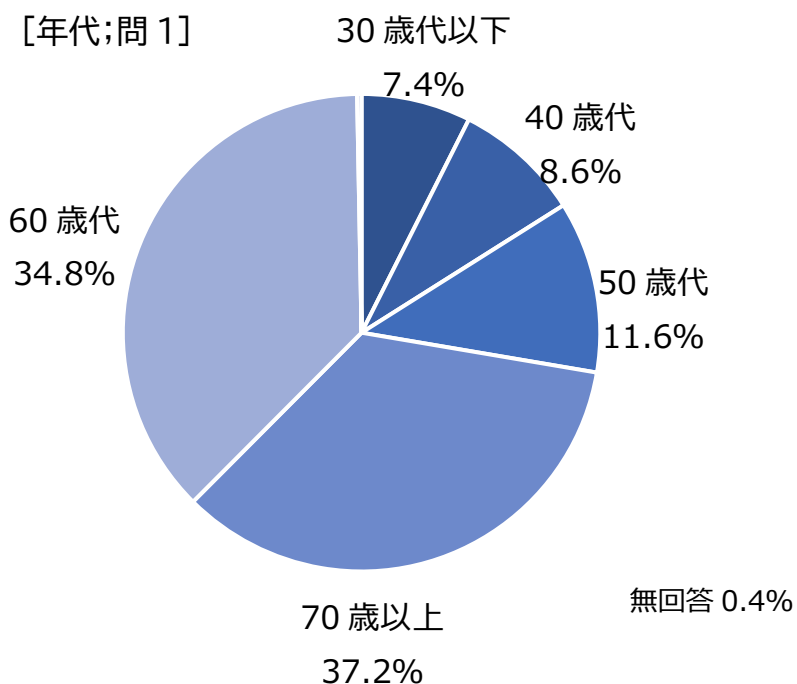
(4)回収数

2020票 (回収率 57.1%)

(5)本報告[概要版]について

本報告 [概要版] は全35問のアンケート調査のうち、計画策定にあたり特に勘案すべき質問項目の結果を抜粋し、作成したものです。詳細の調査結果は「市民アンケート調査からの現状」として、別途、市及び市社協のホームページに掲載されます。

2 回答者の属性



➤回答した方の年齢は「70歳以上」が最多であり、次いで、「60歳代」です。

詳細の調査結果は「市民アンケート調査からの現状」として、市及び市社協のホームページに掲載

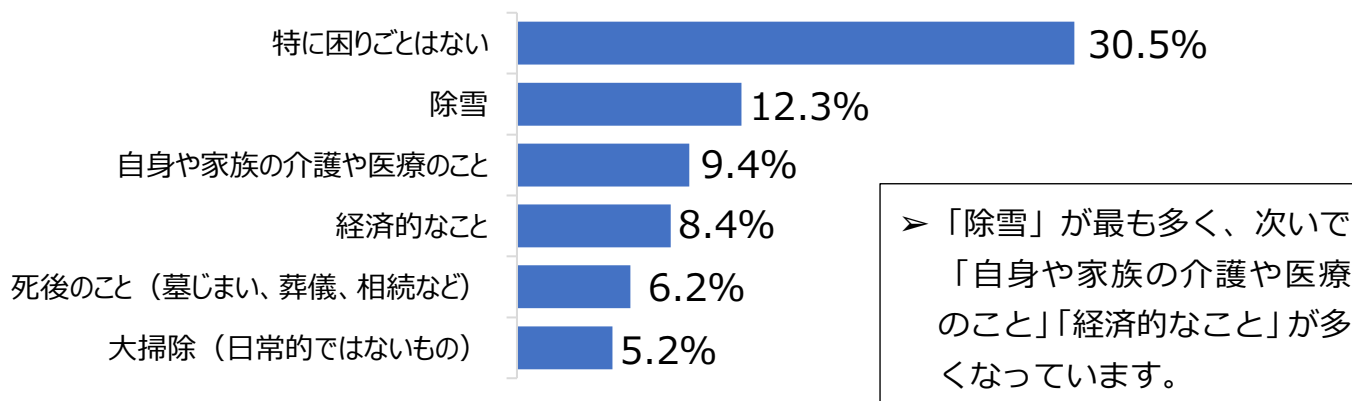
[回答者、学区・地区の別;問3]

琢成	103	港南	57	本楯	44	広野	51	観音寺	53	内郷	30
浜田	95	松陵	94	上田	35	十坂	59	大沢	24	田沢	28
若浜	98	泉	133	北平田	34	黒森	26	日向	21	東陽	43
亀ヶ崎	140	宮野浦	98	中平田	44	浜中	25	南部	28	郡鏡・山谷	30
富士見	123	西荒瀬	42	東平田	31	飛島	10	山寺	20	南平田	50
松原	129	南遊佐	34	新堀	48	一条	35	松嶺	49	砂越・砂越緑町	30

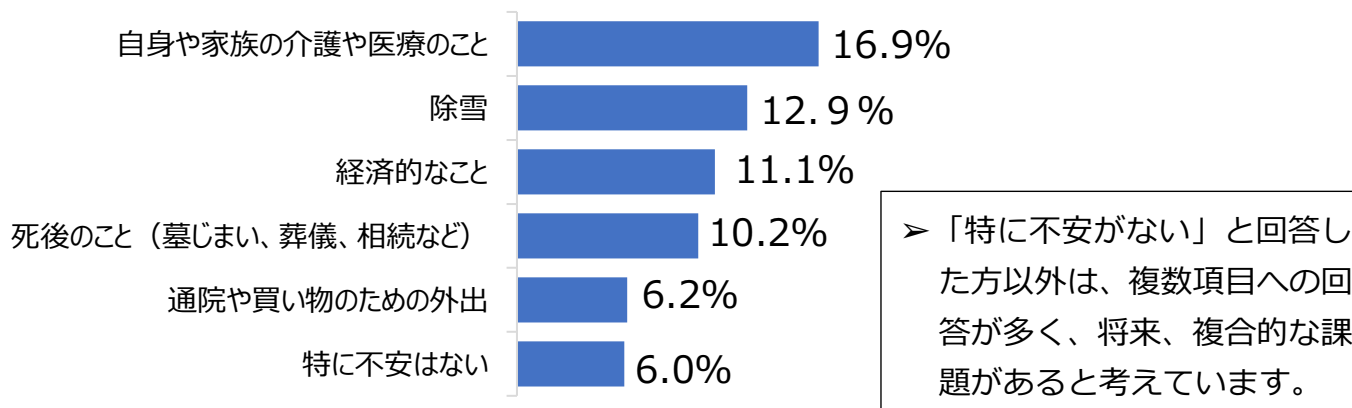
地区不明 26

3 生活での困りごと

[現在の困りごと;問4]・・・「特に困りごとはない」を除く上位5項目

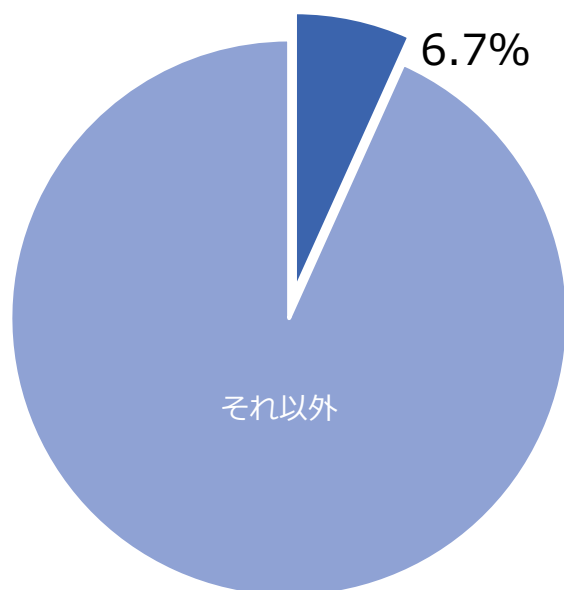


[将来の困りごと;問5]・・・「特に不安はない」を除く上位5項目



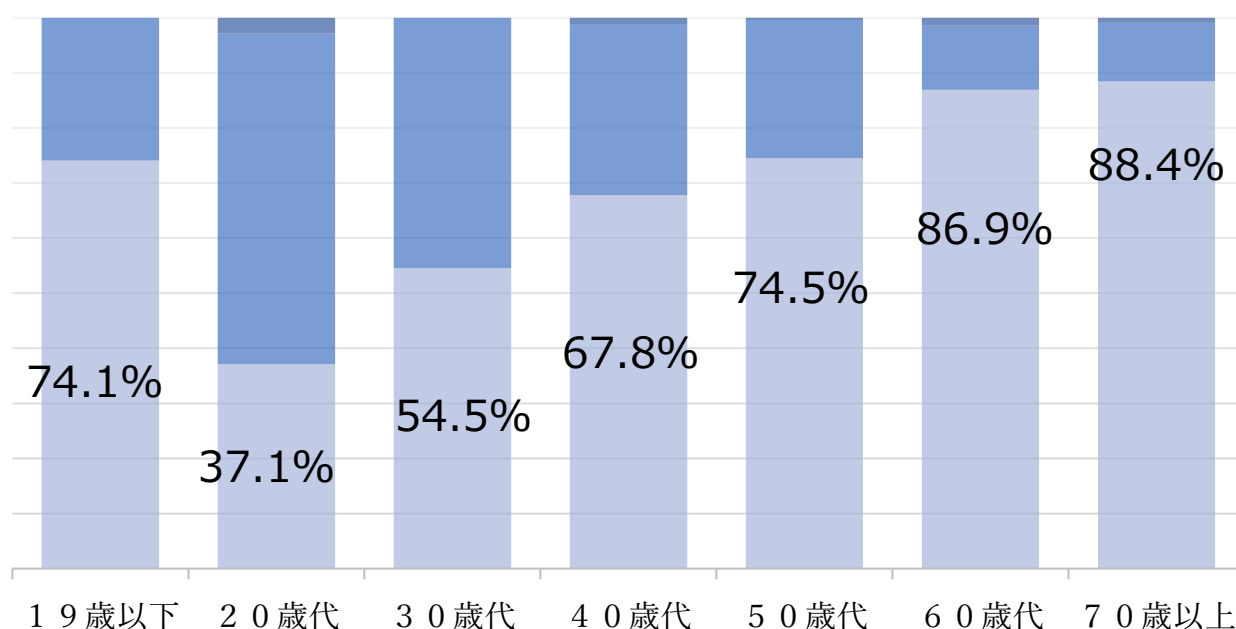
4 地域との関わり

[近所づきあい;問 6]・・・「ほとんど近所づきあいはない」と回答した割合



➤前回調査（平成 28 年）では、同じ回答は 1.8%でした。それに比較して、「ほとんど近所付きあいはない」割合が増えています。

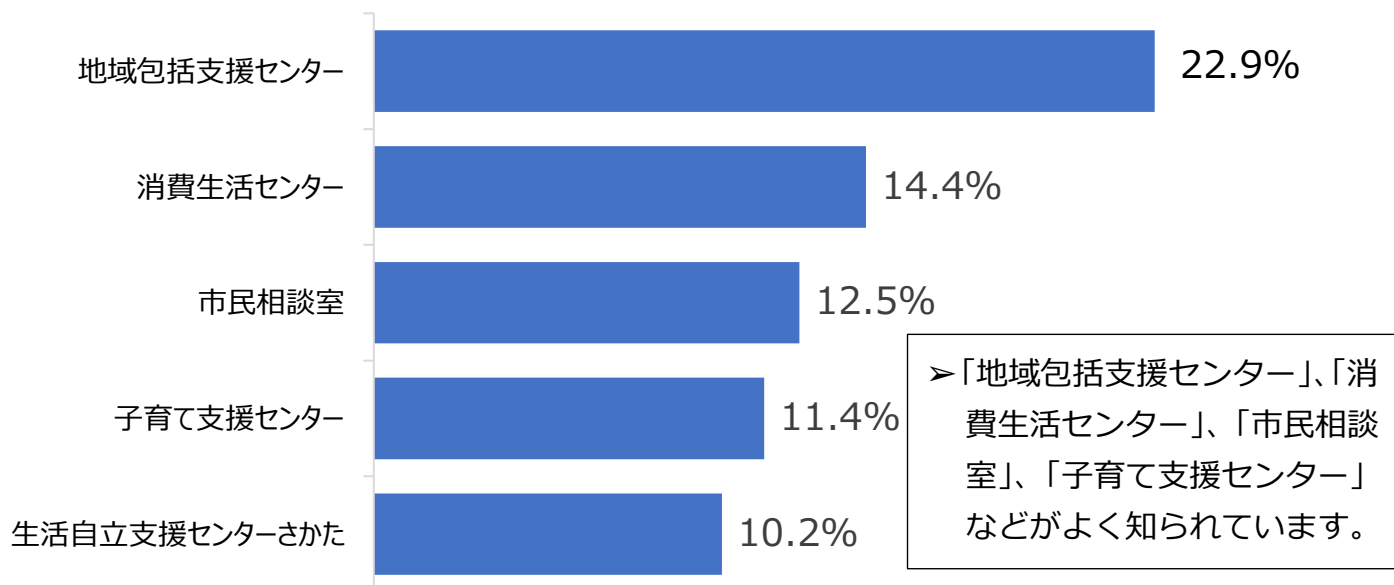
[行事や地域活動への参加経験;問 9]・・・「参加したことがある」と回答した割合(年代別)



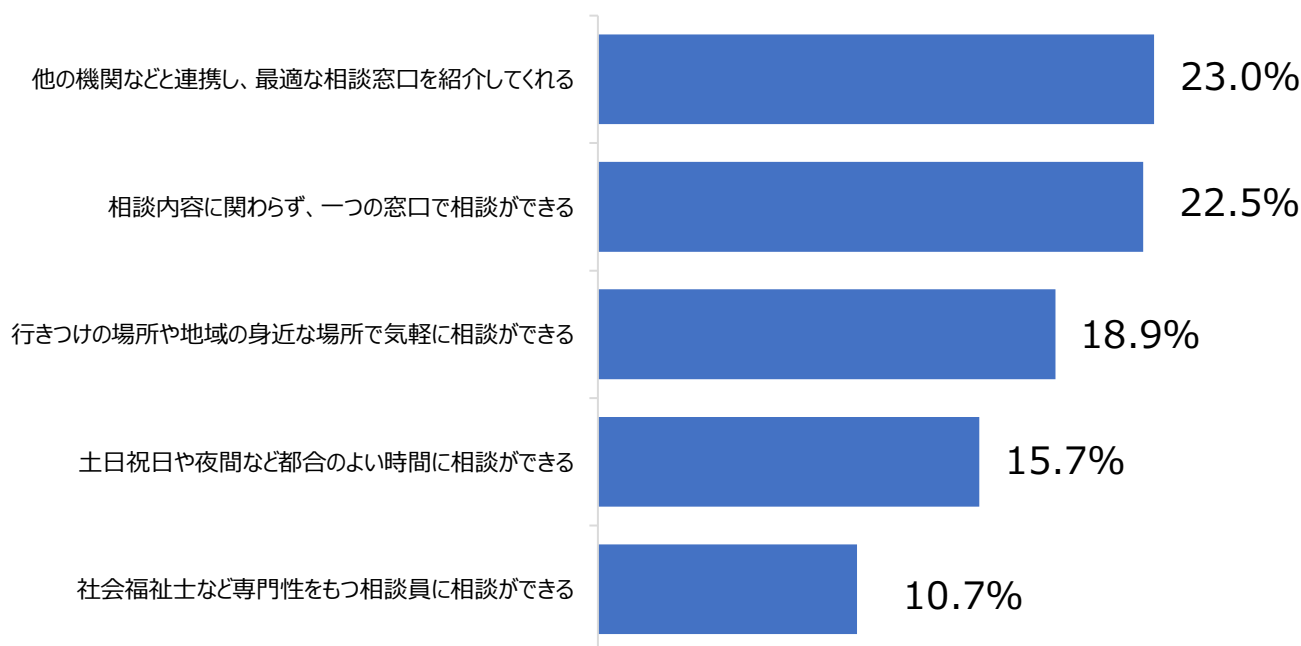
➤参加経験は19歳以下と70歳以上が多く、20歳代が最も少なくなっています。

5 市内の相談窓口

[ご存知の相談窓口;問 13]・・・上位5項目



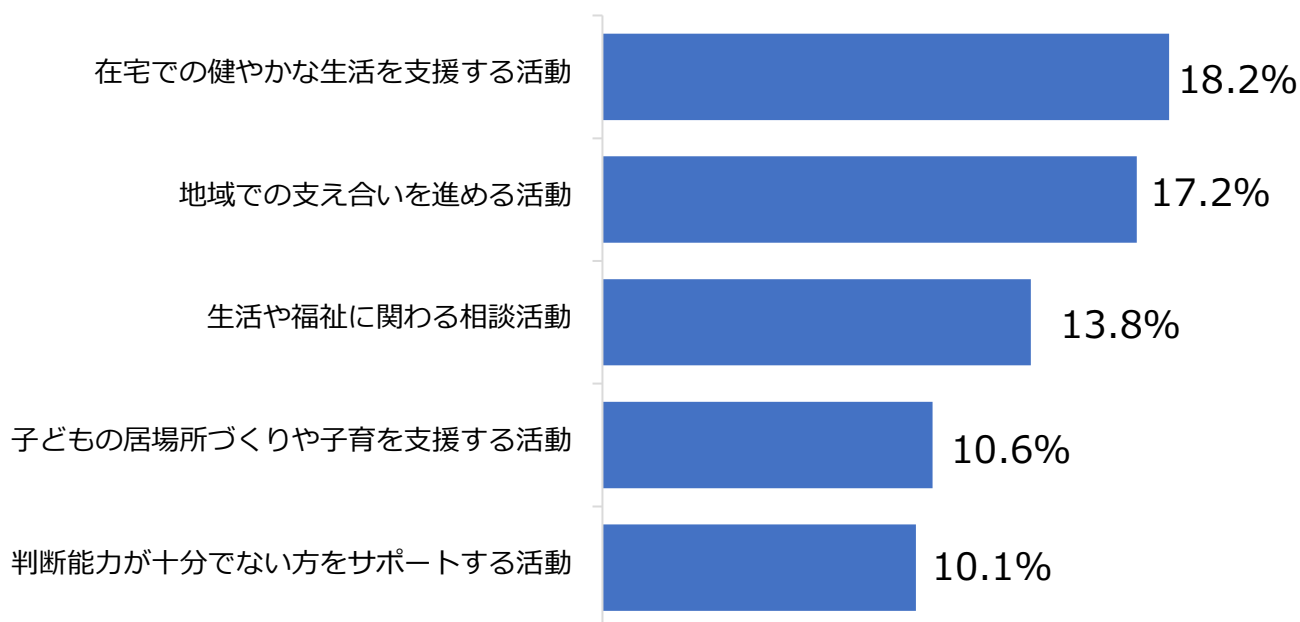
[相談しやすい相談窓口(の条件);問 14]・・・上位5項目



➤相談窓口は、最適な窓口の紹介や一つの窓口での相談が多く期待されています。

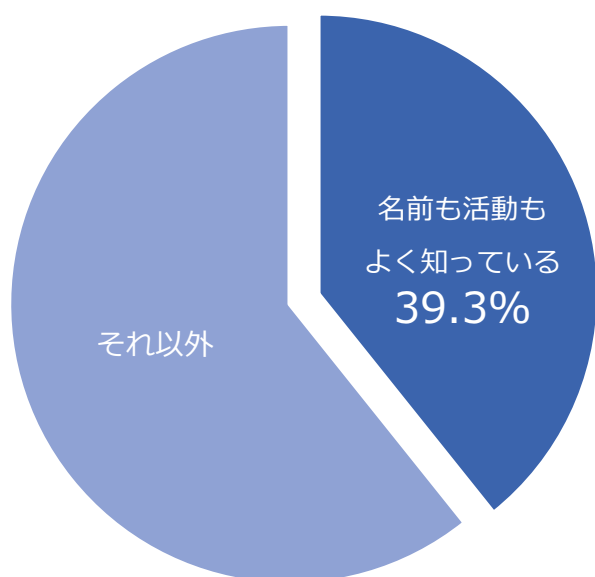
6 社会福祉協議会について

[酒田市社会福祉協議会に充実してほしい活動;問 15]・・・上位5項目



➤ 社会福祉協議会には、在宅での健やかな生活を支援する活動や地域での支え合いを進める活動が期待されています。

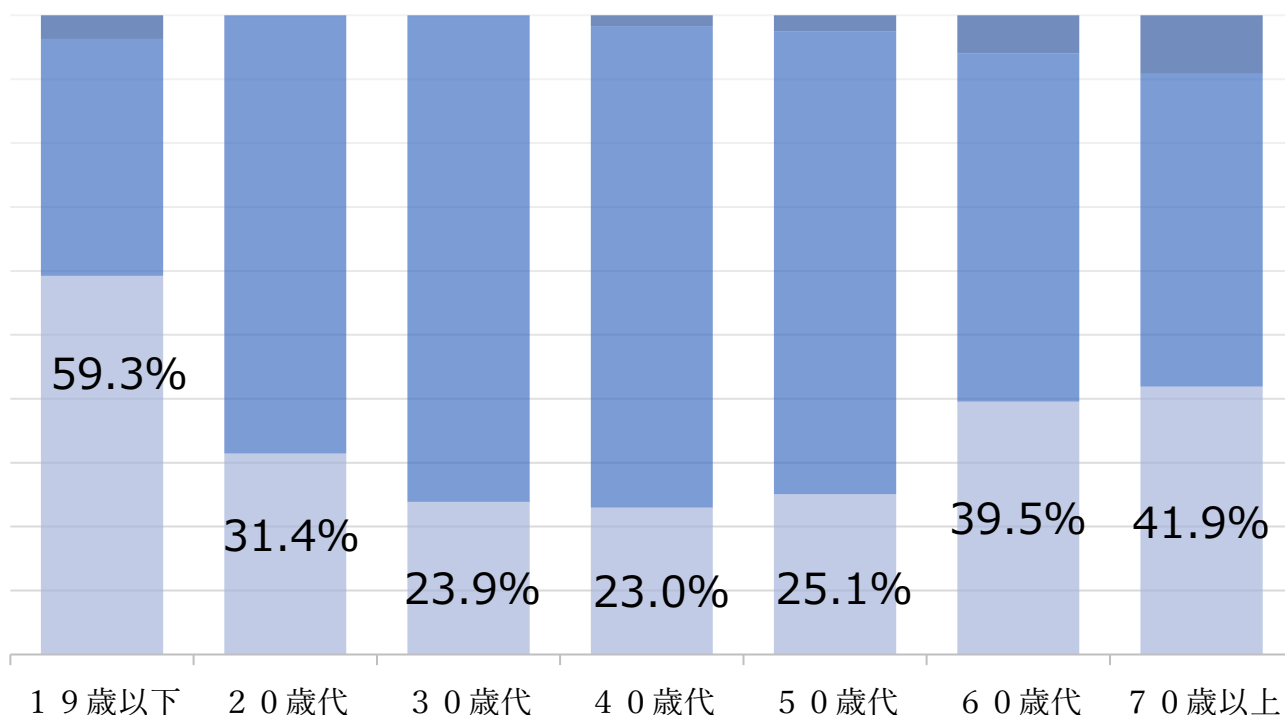
[学区・地区社会福祉協議会認知度;問 16]・・・「名前も活動もよく知っている」と回答した割合



➤ 前回調査（平成 28 年）では、同じ回答は 30.5%でした。学区（地区）社協の活動内容を知っている方は、おおむね増えています。

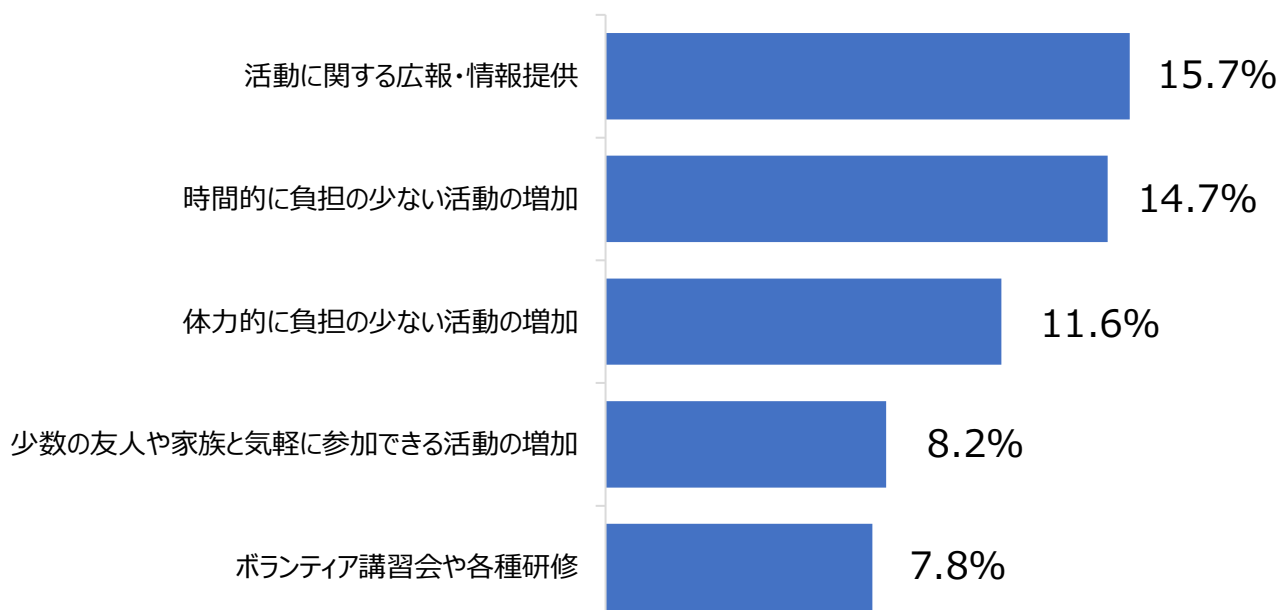
7 ボランティア・NPO 活動について

[ボランティア活動等の参加経験;問 21]・・・「参加したことがある」と回答した割合(年代別)



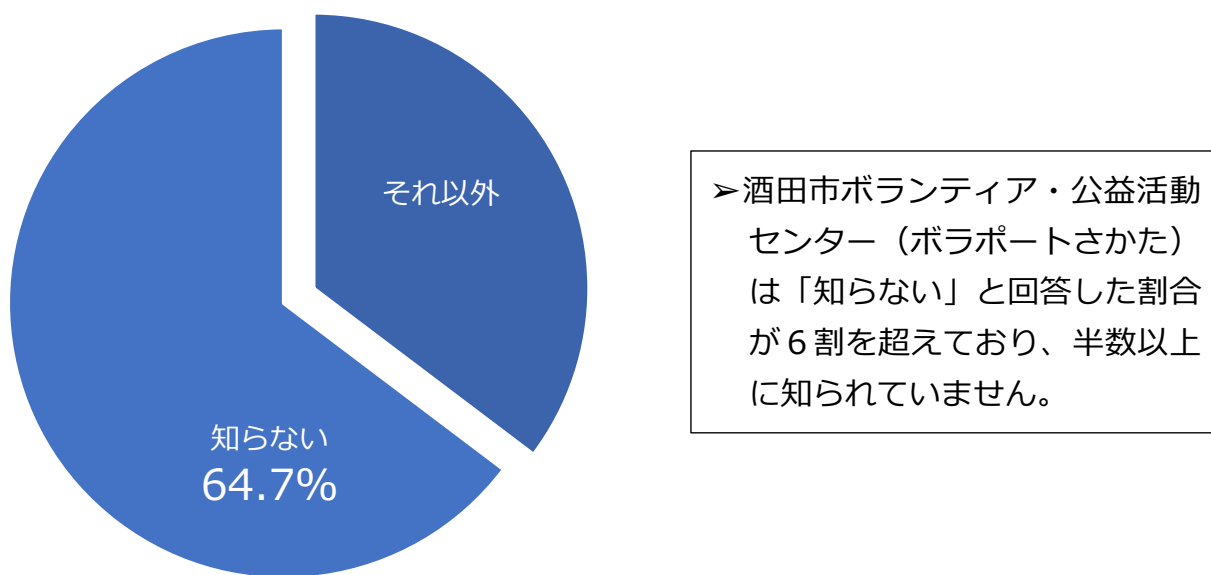
▶参加経験は19歳以下が最も多く、40歳代が最も少なくなっています。

[ボランティア活動等に必要とされる支援や条件;問 23]・・・上位5項目



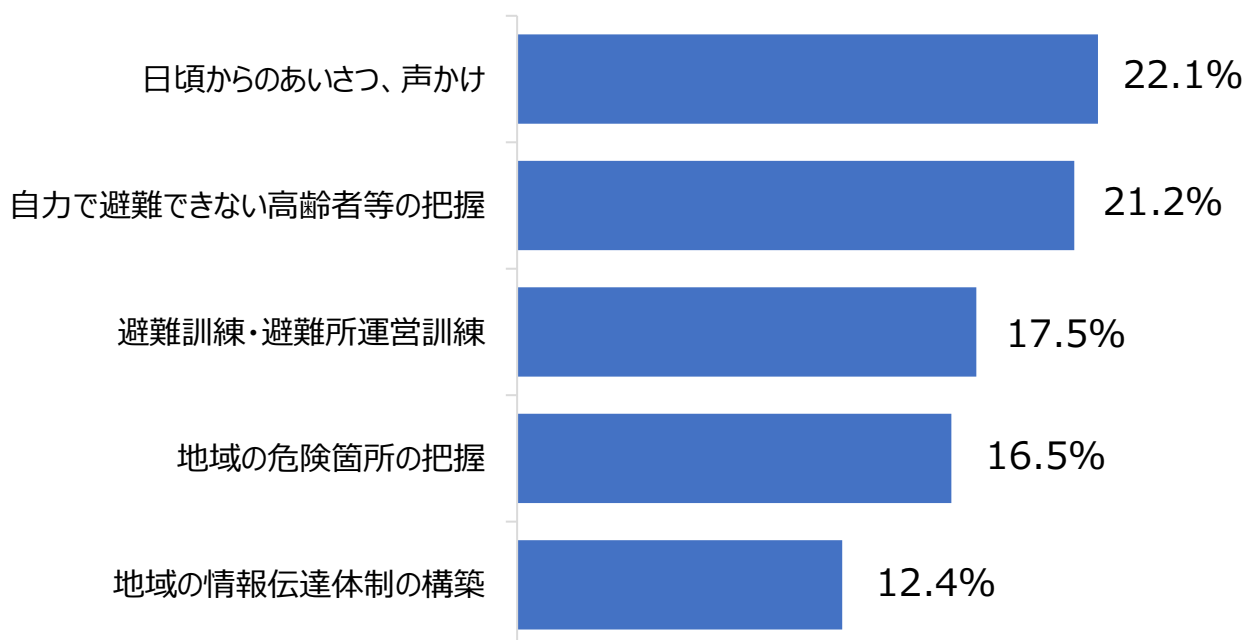
▶広報・情報提供が最も必要と考えられています。負担の少ないボランティア活動が望まれています。

[酒田市ボランティア・公益活動センター認知度;問 24]・・・「知らない」と回答した割合



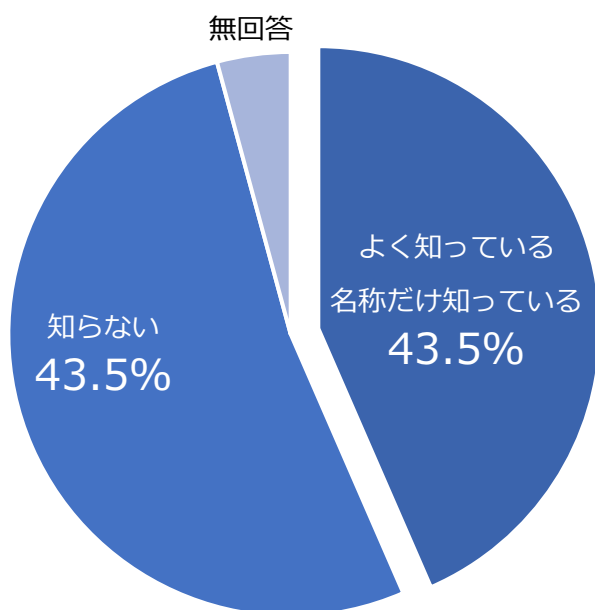
8 災害時の備え

[地域での災害時の備え;問 26]・・・上位5項目



➤地域での災害時の備えは、日頃からのあいさつ、声かけが大切と考えられています。

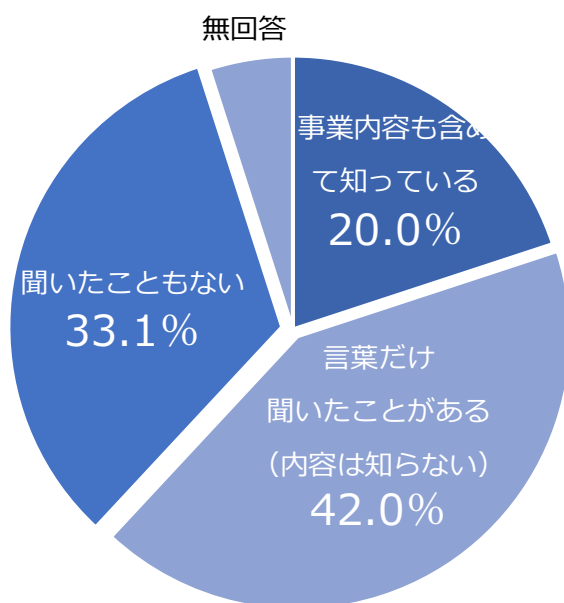
[災害ボランティアセンター認知度;問 27]・・・「知らない」と回答した割合



➤災害ボランティアセンターを「よく知っている」または「名称だけ知っている」と回答した人は全体の約4割となっています。

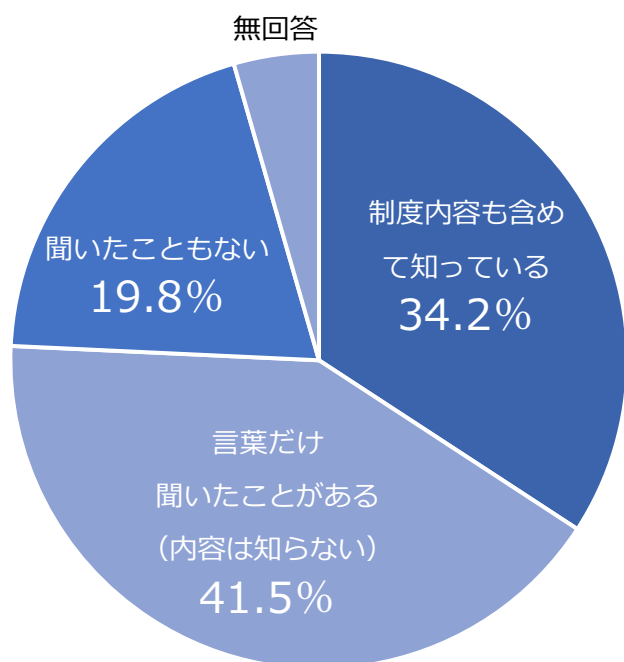
9 成年後見制度など権利擁護

[福祉サービス利用援助事業認知度;問 28]



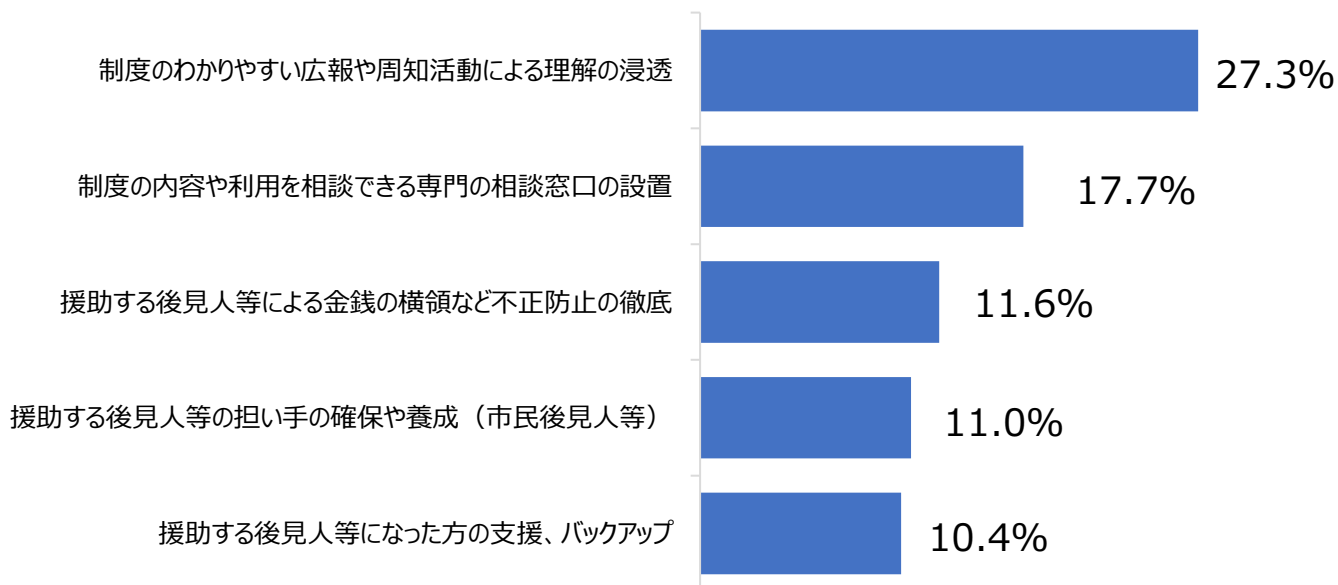
➤福祉サービス利用援助事業は7割以上の方に周知されていない状況にあります。

[成年後見制度認知度;問 29]



▶ 成年後見制度は6割以上の方に周知されていない状況にあります。

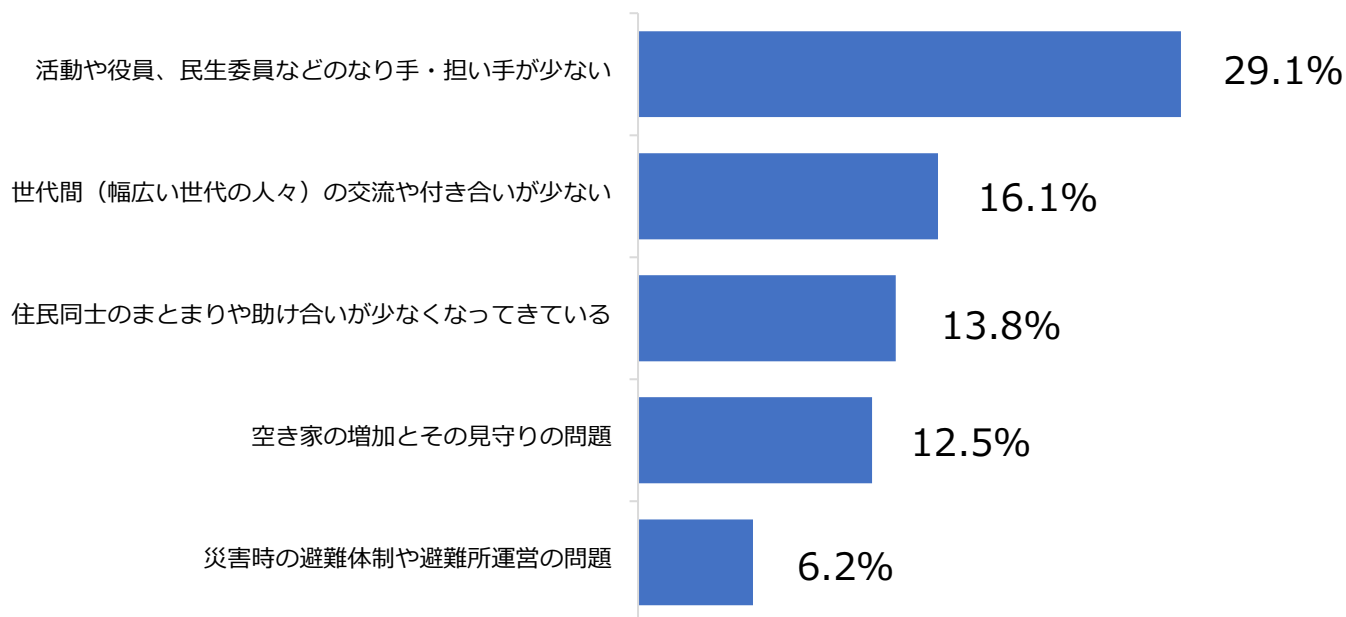
[成年後見制度の利用の促進・充実に必要なこと;問 30]



▶ 成年後見制度については、「制度のわかりやすい広報や周知活動による理解の浸透」、「制度の内容や利用を相談できる専門の相談窓口の設置」が必要と考えられています。

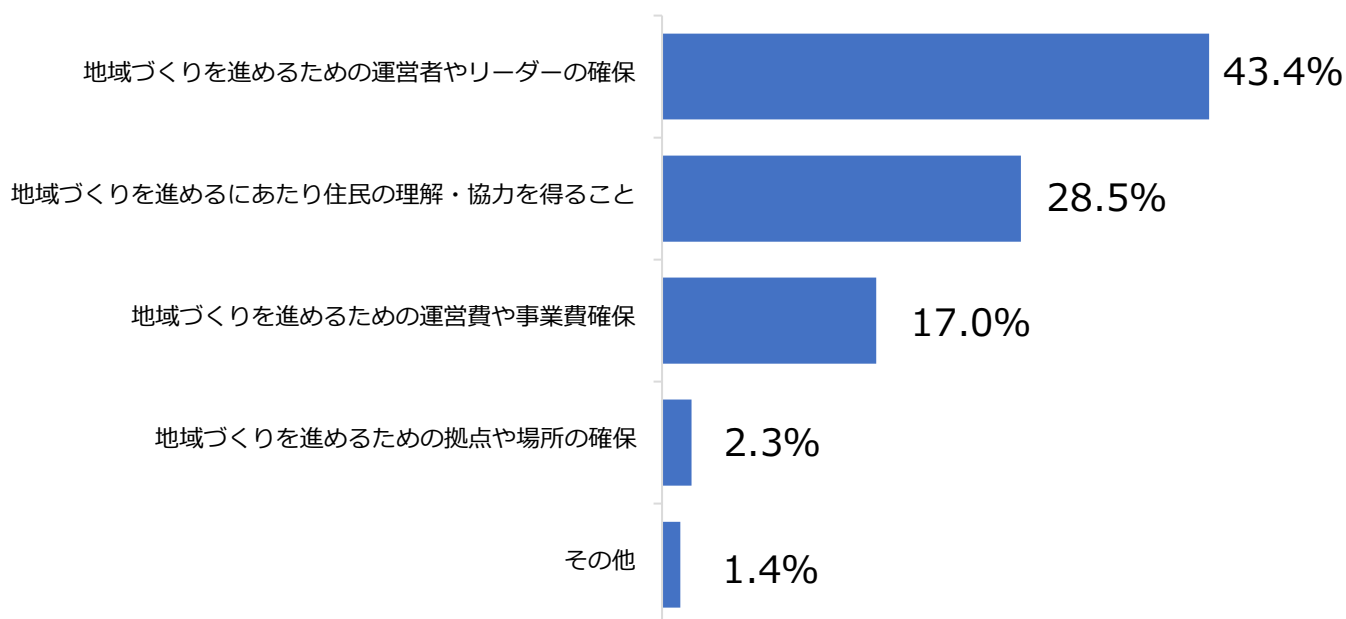
10 地域づくり

[地域社会の問題や課題;問 32]・・・上位5項目



➤ 「活動や役員、民生委員などのなり手・担い手が少ない」、「世代間（幅広い世代の人々）の交流や付き合いが少ない」と回答した割合が高くなっており、担い手の確保が重要課題と考えられています。

[福祉を含む地域づくりを進めるにあたっての課題;問 33]



➤ 「地域づくりを進めるための運営者やリーダーの確保」、「地域づくりを進めるにあたり住民の理解・協力を得ること」と回答した割合が高くなっており、前問同様、担い手の確保が重要課題と考えられています。